

平成28年度 広報広聴事業

意見交換会

～皆様の声を聴かせてください～

実施報告書



—目次—

- 1, はじめに
- 2, 開催概要
- 3, 報告内容（当日配布資料）
- 4, 参加者からの質問及びご意見
- 5, アンケート結果
- 6, 資料
- 7, 最後に

1. はじめに

現在、岩見沢市議会は議会改革を進めており、その一環として市民との情報共有の場、また意見交換の機会を増やしていきたいと考えております。その具現化の一つとして、平成 26 年度には各常任委員会が実施した他都市調査の内容を市民に対して報告する「他都市調査報告会」を実験的に開催し、昨年平成 27 年度は、その検証を基に岩見沢市議会フォーラム“元気 UP 岩見沢！”と題し、前年と異なり他都市調査にこだわることなく、各常任委員会が担当する範囲から抽出すべき内容を話題提供とさせていただき、議会活動全般に対して意見交換を行ってまいりました。結果、昨年は 54 人の市民の皆さまにお越しをいただき、多くの皆さまより「議会報告会は必要」とのご声援をいただいた一方、「各地域で開催をしてほしい」「建設的な報告会をしてほしい」「報告会と言うより市民の声が生きる会に」と言ったご意見をいただきました。

こうした皆さまからの声を参考とさせていただき、3 回目となる今年度は、議会側からの話題提供をよりシンプルにし、前段において各 3 常任委員会の重点を少しご紹介させていただくことにとどめ、皆さまのご意見をお聴きかせいただく「意見交換」に重点をおくことといたしました。また、これまでは会場が一箇所のみの開催であったのを、より身近に、また少しでも多く参加していただけるよう、平日夜間 3 箇所、休日昼間 3 箇所の計 6 箇所で開催させていただきました。

その様に開催をした結果、どの会場においても多くの貴重なご意見を賜ることができ、議会全体としての広聴の機会が重要であることを再認識することができました。お寄せいただいたご意見、またアンケートの結果を踏まえ、議会として更なる改善を行い、日々の活動や政策等にしっかりと繋げていきたいと考えている所存です。どうか今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 平野義文

副委員長 大和 勝

委員 増山宣之

峯 泰教

樽館竜哉

齊須正友

山田靖廣

池島和行

2. 開催概要

【第1回】

■実施日時

平成29年2月15日（水）19時より

■開催場所

- ①日の出コミュニティセンター
- ②美流渡コミュニティセンター
- ③北村環境改善センター

【第2回】

■実施日時

平成29年2月19日（日）14時より

■開催場所

- ①生涯学習センターいわなび
- ②栗沢市民センター
- ③幌向総合コミュニティセンターほっとかん

【事業内容】

市議会議員全21名を任意の3グループに分け班を編制した上で、議会より大まかな話題提供を行い、それに関する意見交換を実施。その後、参加された皆様より市政全般に関わる自由な問題提起及び意見交換を行った。

【班編制】

班	代表	副代表	構成メンバー（五十音順）				
①	谷口洋一	平野義文	井幡修一	大坂龍起	酒井和子	櫛舘竜哉	増山宣之
②	豊岡義博	上田久司	池島和行	太田博之	篠原藤雄	古石英仁	大和 勝
③	峯 泰教	斉須正友	伊澤幸信	石黒武美	笹島清一	野尻 清	山田靖廣

【来場者数】

会 場	人数
日の出コミュニティセンター	12名
美流渡コミュニティセンター	8名
北村環境改善センター	8名
生涯学習センターいわなび	27名
栗沢市民センター	9名
幌向総合コミュニティセンターほっとかん	21名

■合計人数 85名

【アンケート回答者数】

80名（回収率94.1%）

3. 報告内容（当日配布資料）

○岩見沢市まちづくり基本条例

平成26年12月19日 条例第29号

～議会条項抜粋～

第3章 議会及び議員

（議会の役割と責務）

第10条 議会は、市の意思を決める議決機関であり、市長等による事務の執行を監視し、及びけん制し、市民の意思を政策に反映させるものとします。

2 議会は、審議の過程その他議会の活動に関する情報を市民に提供し、開かれた議会運営に努めなければなりません。

（議員の役割と責務）

第11条 議員は、市民がまちづくりの主体であることを認識し、市全体のまちづくりの視点を持って、公正かつ誠実に職務を遂行しなければなりません。

2 議員は、広く市民の声を聴くことにより、市民の意思を把握し、これを政策に反映させるものとします。

3 議員は、議会における審議及び政策立案活動の充実を図るため、積極的に調査研究に努めるものとします。

総務常任委員会

◆ 総務常任委員会の所管

【総務部】 秘書課／東京事務所／庶務課／防災対策室／市民連携室／職員課／市民サービス課／
行政情報化推進室

【企画財政部】 企画室／企業立地情報化推進室／財政課／契約検査管理課／税務課

【北村支所】【栗沢支所】 総務課／市民課

【教育委員会】 学校教育課／指導室／学校給食課／生涯学習・文化・スポーツ振興課／
教育施設課／子ども課／図書館／緑陵高等学校

【会計室】

【選挙管理委員会】

【監査委員事務局】

【公平委員会】

◆ 重点施策（抜粋）

◇ 岩見沢市公共施設等総合管理計画の策定

岩見沢市の公共施設等は、老朽化した施設が多く、今後、大量の建て替えまたは大規模補修が必要となる時期が到来し、その費用をすべて負担することは困難であると見込まれている。そのような中で、市は公共施設等の全体の状況を把握し、長期的・計画的に更新・統廃合・長寿命化等を進めることにより、公共施設等の最適配置の実現を目指している。

※現在、市役所庁舎の整備の方向性についても検討されている。

◇ ふるさと納税の状況

平成 27 年度は、市外から約 1,350 件、2 千万円弱の寄附があったものの、返礼品の代金ほか送料等の諸経費と、他市町村に寄附された市民の市民税の減額分を差し引くとマイナス収支であったが、平成 28 年度は、ふるさと応援寄附管理業務の外部委託により、返礼品の充実や告知環境を強化し、結果として年末までに約 6,700 件で 1 億 6 千万円の寄附があった。

◇ 学校給食共同調理所の建設

- ・駒沢高校跡地にて現在建設中であり、平成 29 年 11 月頃竣工予定
- ・習熟期間を経て冬休み明けの平成 30 年 1 月供用開始予定
- ・総工費、既存調理所 3 施設の除却、配送車の購入等を含め約 36 億円

民生常任委員会

◆ 民生常任委員会の所管

- 【健康福祉部】 福祉課／高齢介護課／軽費老人ホーム／健康づくり推進課／国保医療助成課／保護課
- 【環境部】 環境保全課／廃棄物対策課／文向台衛生センター管理課
- 【北村支所】 保健福祉課 【栗沢支所】 保健福祉課
- 【市立総合病院・市立栗沢病院】

◆ 重点施策（抜粋）

【健康福祉部】

少子高齢化がますます進行する中、子ども・子育て支援の充実を図るとともに、市民の健康づくりを支援し、「人もまちも元気で健康」を目指した施策の展開を推進している。

- ① 健康コミュニティ推進事業（北大 COI と連携するなど、健康コミュニティの構築）
- ② 健康寿命延伸事業（がん検診自己負担の大幅引下げ、中学生のピロリ菌検査・除菌）
- ③ 健康づくり拠点整備事業（第2ポルタに健康ひろばを整備）
- ④ 乳幼児等医療助成事業（入院医療費無料化を小6→中3に拡大）
- ⑤ 市民後見推進事業（認知症高齢者等の地域生活支援のため、成年後見センター開設）

【環境部】

地域特性に応じた環境保全の施策方向、及び環境施策の総合的な推進に努め、ごみ処理三原則を基本に、市民・事業者・行政が協働し、ゴミの減量化・再資源化に取り組み、循環型社会形成を推進している。

- ① 環境対策事業（地球温暖化防止に向け、太陽光発電システム導入補助金）
- ② 墓地霊園管理造成事業（緑が丘霊園の拡張造成）
- ③ ごみ減量化推進事業（ごみ処理三原則を基本にごみの減量化・再資源化を推進）

ごみ排出状況

（単位：t）

区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	27年度－26年度	
家庭系ごみ	20,503	19,779	18,570	19,251	14,099	▲5,152	▲27%
事業系ごみ	12,960	13,603	13,043	14,613	7,566	▲7,047	▲48%
計	33,463	33,382	31,613	33,864	21,665	▲12,199	▲36%
資源ごみ	1,064	1,572	1,684	2,061	3,242	+1,181	+57%
合計	34,527	34,954	33,297	35,925	24,907	▲11,018	▲31%

- ④ 文向台衛生センター管理事業（センターの適正な管理・共同污水处理施設の実施設設計）

【市立総合病院・市立栗沢病院】

市立総合病院は、南空知医療の中心的役割は大きく、少子高齢化・人口減少の中、先進医療機器の充実を図り、市民の健康維持に大きく関わっている。また、市立栗沢病院は、療養型病院として、各医療機関、施設等紹介による入院の受け入れも行っている。

- ① 医療機械器具等整備事業（医療機器の計画的な整備の推進）

経済建設常任委員会

◆ 経済建設常任委員会の所管

- 【建設部】 建設管理課／遊水地建設室／土木課／公園緑地環境課／都市計画課／建築課
- 【経済部】 商工労政課／中心市街地活性化推進室／観光物産振興課
- 【農政部】 農務課／農業基盤整備課／北村産業振興課／栗沢産業振興課
- 【水道部】 業務課／水道課／下水道課
- 【農業委員会】

◆ 重点施策（抜粋）

◇ 除排雪事業費の増額

H28 年度予算 13.2 億円 ・大型ロータリー除雪車 4,990 万円 1 台更新
 ・市民堆雪場増設（上幌向）→補正予算措置済
 ・間口の置き雪除雪→検討開始

H27 年度予算 13.3 億円 ・運搬排雪用ダンプトラック 2 台増強
 ・大型ロータリー除雪車 1 台更新
 ・小型ロータリー除雪車 1 台更新
 ・除雪専用車 1 台更新
 合計 1 億 3,900 万円

H26 年度予算 10.9 億円 ・設計基準降雪量の見直し（6.5m⇒7m）

H25 年度予算 9.9 億円 ・大型ロータリー除雪車 1 台増強・1 台更新
 ・小型ロータリー除雪車 2 台増強
 合計 1 億 7,600 万円

H24 年度予算 7.9 億円

< 除排雪用機械更新状況 >

	H24	H25	H26	H27	H28
ダンプトラック	4台	4台	4台	6台 (増強2台)	6台
除雪専用車	9台	9台	9台	9台 (更新1台)	9台
大型ロータリー除雪車	9台	10台 (更新1台、増強1台)	10台	11台 (更新1台 予備機)	12台 (更新1台 予備機)
小型ロータリー除雪車	5台	7台 (増強2台)	7台	7台 (更新1台)	7台

◇ 公募型プレミアム付商品券等発行支援事業

- ・プレミアム建設券（岩見沢プレミアム建設券事業実行委員会）
- ・プレミアム商品券（いわみざわ商工会／榊振興いわみざわ／幌向プレミアム商品券実行委員会）

◇ 観光振興戦略推進事業（観光入込数 H26 年度：133 万人→H31 年度：150 万人）

岩見沢市議会の状況

1 市議会開会数

年	合計		定例会		臨時会		会議日数	
	回数	会期	回数	会期	回数	会期	本会議	休会
平成 24 年	9	67	4	62	5	5	25	42
平成 25 年	8	64	4	60	4	4	24	40
平成 26 年	6	61	4	59	2	2	22	39
平成 27 年	8	64	4	60	4	4	24	40
平成 28 年	6	60	4	58	2	2	22	38

2 常任委員会の運営状況

年	合計		総務 常任委員会		民生 常任委員会		経済建設 常任委員会	
	開会日数	議案数	開会日数	議案数	開会日数	議案数	開会日数	議案数
平成 24 年	36	52	11	29	10	9	15	14
平成 25 年	38	85	13	39	8	22	17	24
平成 26 年	31	53	12	20	8	11	11	22
平成 27 年	31	70	15	36	7	11	9	23
平成 28 年	27	52	13	27	5	11	9	14

経済建設常任委員会のH27.5以前は「経済常任委員会」及び「建設常任委員会」の合計数
議案数は、各常任委員会での所管分を含む延数

3 市議会における意見書・決議の採択状況

年	計	意見書	決議
平成 24 年	6	5	1
平成 25 年	14	10	4
平成 26 年	21	20	1
平成 27 年	25	17	8
平成 28 年	23	21	2

岩見沢市議会議員の紹介

第1班



谷口 洋一
総務委員長
当選 5 回



平野 義文
総務副委員長
広報広聴委員長
当選 2 回



井幡 修一
総務
当選 5 回



酒井 和子
監査委員・総務
当選 5 回



大坂 龍起
副議長・民生
当選 3 回



檜舘 竜哉
民生・広報広聴
当選 1 回



増山 宣之
経済建設・広報広聴
当選 4 回

第2班



豊岡 義博
民生委員長
当選 2 回



上田 久司
民生副委員長
当選 7 回



篠原 藤雄
総務
当選 4 回



池島 和行
総務・広報広聴
当選 2 回



太田 博之
民生
当選 4 回



古石 英仁
民生
当選 4 回



大和 勝
経済建設
広報広聴副委員長
当選 1 回

第
3
班



峯 泰教
経済建設委員長
広報広聴
当選 2 回



齊須 正友
経済建設副委員長
広報広聴
当選 2 回



野尻 清
総務
当選 5 回



山田 靖廣
総務・広報広聴
当選 2 回



石黒 武美
民生
当選 5 回



伊澤 幸信
経済建設
当選 4 回



笹島 清一
議長・経済建設
当選 6 回

本日は、冬期間、積雪寒冷の中「意見交換会」にご出席いただきありがとうございました。

本日もご出席をいただきました皆さまから、忌憚のないご意見をできるだけ多くお聴かせいただき、市民の皆さまと情報を共有し、よりよい岩見沢となるよう、まちづくりに市民とともに取り組んでまいりたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

意見交換会～皆様の声を聴かせてください～

開催日時	開催会場	担当
平成29年2月15日(水) 午後7時～	日の出コミュニティセンター 住所：日の出3丁目6番17号 TEL23-0913	第1班
	美流渡コミュニティセンター 住所：栗沢町美流渡栄町93番地4 TEL46-2555	第2班
	北村環境改善センター 住所：北村赤川595番地4 TEL55-3273	第3班
平成29年2月19日(日) 午後2時～	生涯学習センター いわなび 住所：4条西1丁目3番地4 TEL24-2333	第1班
	栗沢市民センター 住所：栗沢町北本町168番地36 TEL45-2128	第2班
	幌向総合コミュニティセンター ほっとかん 住所：幌向南1条1丁目70番地5 TEL26-1548	第3班

第1班

谷口洋一議員、平野義文議員
井幡修一議員、酒井和子議員
大坂龍起議員、檜館竜哉議員
増山宣之議員

第2班

豊岡義博議員、上田久司議員
篠原藤雄議員、池島和行議員
太田博之議員、古石英仁議員
大和 勝議員

第3班

峯 泰教議員、齊須正友議員
野尻 清議員、山田靖廣議員
石黒武美議員、伊澤幸信議員
笹島清一議員

4. 参加者からの意見・質問など（市に対するもの）

注：いただいたご意見・ご質問は紙面の都合上、要約させていただいております。
また、お答えした議員の発言は議会の総意ではなく、議員個々の見解であることをお含みおきください。

【市庁舎建設に関するもの】

Q 市庁舎建てかえについて、市民の声を吸い上げることが必要と思うが

A いろいろな考え方がある。一緒に考えて決めていかなければならないと考えている。合併特例債の活用が前提の話になっている。

基本的には合併特例債を使用する。高度経済成長期に建てられた建物が老朽化している。現市庁舎を壊して建てかえるのは高いコストがかかる。市民に開かれた役所、ただ役所だけではなく、災害時に司令塔となることを加味して、庁舎建設の議論を進めていくと思う。

(再) 問題は計画期間が限られていること。公共施設の統合はできないのか。効率よく話をまとめていくかが大事と考える。

A 平成33年3月までに完成。複合施設、駐車場について駐車場は必要と考える。複合施設も考え方としてはありと考える。

Q 市庁舎建てかえについて、耐震性の考え方をお伺いしたい。

A 活断層が市役所、振興局方面に1本走っている。市庁舎は防災拠点にならなければいけないため、そこを考慮した選定が必要と考える。

(再) 今起こっている災害は想定外のものばかり。実際に起こってみたいとどこが適切な場所かはわからない。それならば、小さな防災拠点や資材置き場が必要では？

A 出されている3案にこだわるつもりはない、広く市民の意見を聞いて決めたいと市長は言っている。合併特例債を使用するとなると期限があるので、計画を決めてつくる必要がある。住民票などもコンビニで手に入るなど利便性が高まる中、市役所に求めることを考えて庁舎をつくっていく必要がある。合併特例債に縛られて時間切れということにはしたくない。

※ 建設候補地3案

- ・現庁舎敷地
- ・中央小学校跡地
- ・有明中央用地

Q 急いで変なところに建てても駄目だと思う。

A これからの市役所の機能をどこに求めるかが大事。防災という面でターミナルセンターとして置いておく。税金を納めることはコンビニでできる。今後は住民票の発行などもコンビニで可能になる。それらを考慮すると防災に強いものにすべきで、1カ所ではなく分散することも考えられる。トータルで考える必要がある。今後人口が減っていくなか借金で建てなければならない。場所も機能も考えていくことが重要。議会も5月に任期4年の折り返しになるので、庁舎については議会でも議論が必要。100年の大計に関するものという覚悟でやりたい。

※ ここではすべてを掲載できませんが、市庁舎建設に関して、建設場所・機能の視点からさまざまなご意見をちょうだいいたしました。

【防災対策に関するもの】

Q 防災の関係。昨年8月の大雨時には、消防団員が述べ5日間災害対応をしている状況。消防団員の減少、団員の負担が増加している。市は、災害に対する備えを最優先に考え体制を整えるべきではないか。

A 指揮系統をどうするか？北村地域の水防活動は北村支所長の指揮で水防団、消防団を招集しポンプを設置する。ポンプ等資機材点検の予算が少ない。初歩的な訓練、人材育成が追いついていない。支所を拠点とした体制づくりを心掛けていきたいと考えている。

意見 他の議員にもわかってほしい。予算がないでは済まされない問題である。

意見 活断層と市街地の問題。報道を見ると、駅は危ないと感じてしまう。市民は短絡的に判断してしまう。

【地域公共交通に関するもの】

Q 地域公共交通について、今までとは違った交通体系になるものと考えているが、その辺はどうか？

A 中央バスの運営は厳しいと思われる。美流渡地域は福祉バスが通っている。
(再)今の福祉バスは不便だが、便利が良すぎると買い物などで地元を使わなくなり逆に困る面もある。もう少し小回りを利くようにするなど、接続を良くしてほしい。

A 合併時に福祉行政の一本化ができなかった。

意見 全部なくしてもらったほうがいいのでは。

意見 ガソリン代を折半する乗り合い等の方法はどうか？

Q バスの乗り継ぎ割引があれば利用者も増えて良いと思うが。

A 要望として承る。

意見 若い人を応援する施策も大事だが、高齢者が増えてきているので高齢者が暮らしやすいようにしてほしい。買い物も病院も行きづらくなっている。高齢者も高齢者なりに頑張っているので検討してほしい。

【移住・定住に関するもの】

Q 食品工場や学校、美流渡出張所があるが誰も住まない。

住宅の整備が必要、公営住宅を改修して若い人向けに。古すぎて貸せるような住宅が地域にはない。公営住宅の取り壊しの予算はあっても、改修の予算はついていないのではないかと用途変更すればある程度自由に使えると聞いている。お金の掛け方だと思う。

A リフォームするから入ってくださいということでもなく、仕様のやり方で対応できるのではないかと。臨機応変さが必要だと思う。

Q リバースモーゲージは1年おいてマイホーム借上げ制度という形で出てきた。昨年12月5日の時点で持ち家があり、貸してもよいという人が申し込んだ。

それがどれぐらいどうなったのか？

A 有効活用は時代の流れとして必要性があると認識している。潰れそうな空き家は所有者に解体、撤去してもらうことが必要。風雪害などで迷惑をかけることもある。そのような実態になっていることを認識して考えていきたい。

もともとは地価の高いところで、住みながらにして支援してもらう制度。岩見沢は空き家ということで、重要な問題と捉えしっかりと議論していきたい。

※ リバースモーゲージ

持ち家（自宅）を担保として銀行や自治体から融資を受けて、借りたお金は死亡時に自宅を売却することで一括して返済する仕組み。

Q リバースモーゲージ、資産価値のあるうちに利用する方法を検討してほしい。

A 空き家は約 200 戸存在している。内、所有者と連絡がつかない、危険をはらんでいるものが約 30 件あると聞いている。付加価値を認識した中で空き家をどう活用していけるかを考える一方、可能性の低いものは解体する方向も考えていくべきで、行政の考え方を検討していかななくてはならないと考えている。

(再) リバースモーゲージの件数は？

A 詳細は不明だが 5 件以下と聞いている。(実際には、マイホーム借上げ制度として 11 件相談があり、現在まで 2 件が利用)

意見 マイホーム借上げ制度は多角的に利用できるものと思う。是非より活用しやすいようにしてほしい。また、住めない、売れない、貸せないという物件。持ち家が壊せない理由のひとつに、更地にすると土地の固定資産税が上がるという問題がある。これを解決すべきと考えている。

意見 札幌などから若い人を呼び込むために、貸家が安いというのも PR すべきと思う。

意見 若い世代に移住してほしい。三笠市は高校も含めてすごいと聞いている。

意見 雪かきボランティアで来た教育大生を取り込みたいが、住んでもらう仕掛けが何かできないか？外国人留学生の雪かきボランティアの話。皆また来たいと言っていた。受け入れる地域が少なく、美流渡はできる限り行ってきた。国の職員が来て話を聞いていった。

【市町村合併、総合計画、支所、出張所等に関すること】

Q 地域審議会を続けていくべきだったのではないか？

A ・地域審議会は市民納得のもと終了したと記憶している。

インフラ整備が住民の居場所等に影響を与えていくと考えるため、議員としてきちんと議論していく必要がある。ただ、ソフト面は市民と協働して進める必要がある。

Q 10～20年先の未来を考えて事業等を持ってくるのは誰か？その人が、市民のところに来て意見交換するべきでは？支所と出張所の違いは？

A 市の最上位計画は、総合計画。平成29年度から策定される。企画財政部が中心となって行うが、市民に意見を聞きながら行うものとする。市長も市民に聞くことはあるとする。その中で、幌向の位置づけも入ってくると考える。平成29年度はパブリックコメントを実施するし、今いただいた意見は持って帰って伝えたい。支所と出張所の違いとしては、できることの違いがあるとする。

合併したが協議が残っている部分がある。一概には言えないが、地域審議会が10年でなくなり、町会での取りまとめをしてきている。事業の中身は、支所や出張所等での違いはない。大きな開きはないとする。

合併することで栗沢・北村が急に寂れることは避けてほしいということで、今の行政体制がある。北村・栗沢は支所長が窓口になっている。出張所との違いはここにあるのではないかと。

意見 支所設置条例がある。まだ合併を引きずっている印象がある。把握すべきことは把握しておいてほしい。地区がしっかりと役割を持っている。その役割を果たす場所を作ることを議員や市役所が作ってほしい。市役所がどういう役割を果たしてということが、議論の中から抜けている。何のまちづくり計画がこれまでなく作られている印象がある。4年に1回の選挙のときしか知らない。しっかりやってほしい。支所であろうが出張所であろうが機能は果たせる。

Q このままでは、「合併して良かった」とは言えない。

A この場でどうこうするとは言えないが、しっかりやっていきたい。通常であれば10年経ったら検証すべきものとする。

Q 合併して良かったのか？

A さまざまな要素があり、ある程度仕方ない部分もあった。合併していない自治体もあるが、していないからどうかというような、その中身はわからない。

【学校教育に関すること】

Q 就学援助でお世話になっているが、他のまちで入学準備金の支給が3月に実施されると聞いているが、岩見沢ではどうか？

A 要望という形で伺っておきたい。

Q 東小学校の灯油漏れについて新聞報道を見たが、議会で何か議論されたのか。

A 総務常任委員会の中で原因等の報告説明と質疑があった。

Q 特別支援教育支援員が昨年はいたけど、今年はいない。今の人数では足りないのではないか？特別支援の勉強を持っていない人が対応しているのではないか？

A 支援員の数は年々拡充していると認識している。

Q 幌向小学校が現在は1間口しかない。札幌の通勤地だと思うので何とかしてほしい。

A 難しい問題だから解決していく努力が大事。要望として承る。

意見 市町村合併前の小中学校の学区割りが残っている。民生委員の区割りも不便が生じている。

【子ども・子育てに関すること】

Q 親の意見を聞く場はあるのか？子育て支援の充実を掲げるなら、質の改善をしてほしい。

A 議員として伝えていきたい。

Q 病児保育施設は市立総合病院に勤務する職員のみ対象なのですか？

A 病院職員専用ではない。基本的に市内在住のお子さんが対象となっている。

Q 病児保育施設について、多くの市民は、病院関係者しか利用できないと思っていると思うが。

A 市立総合病院の院内保育園と病児保育施設は別なので、病児保育は手続きを行えば市内在住のお子さんとは市外在住でも、保護者の勤務先が市内にある場合は、利用できる。

【医療費助成に関すること】

Q 中学校卒業まで入院費無料。ありがたいが通院も大変。通院は今後どうなるのか？

A 平成29年度の予算で小学校6年生までの拡大が計画されている。議会通過後であり、ただし10月1日以降となる見込

【健康づくりに関して】

Q 健康ポイント事業が JCB の商品券との引き換えに変わったと聞いたが、それは札幌でも使えるものなるのか？商品券であれば市内で使えるようなものが良いと思うが、どうか？

A 札幌でも使えるが、岩見沢市民が岩見沢市内で！という方向性は重要。担当とも議論してみたい。

Q 高齢化が著しい、市で健康教室的なものを常設できないか？

A 第2ポルタビルの1Fにできる。4月1日オープンの予定なので活用してほしい。

Q 確定申告の医療費のハガキ（医療費通知）が重複して送付されてくる。無駄な費用では。

A 国の予算により、国保と後期高齢者ともに発送している。

【高齢者福祉に関して】

Q タクシー券等の質問

A タクシー券は障害を持った方に支給、バス券は71歳以上で旧岩見沢市の区域に居住の方に支給される。福祉行政は旧3市町村でまだ一本化できていない。

※ 福祉タクシー利用料金助成制度、老人バス無料乗車券交付制度の詳細は、ホームページに掲載されております。

Q 福祉施策については、民生委員の間でも問題になっている。合併後3～5年で平等になる約束だったと思う。

A バス券等、交通の不便さを説明。

意見 老人会が会合をするがそれぞれの活動に助成（現在に加えて更なる）をお願いしたい。

【環境に関すること】

Q 合葬墓、市内の墓の維持ができなくて親戚一同、三笠市にいった。合葬墓は大変喜ばれているが岩見沢はいつからで、どれくらいの金額なのか？

A 近いうちに詳細が出てくると思うが、合葬墓なので個別の骨壺を入れるのではなく一緒に遺灰を入れる。

金額が一番高い自治体で 22,000 円ぐらいと聞いている。他都市を調べて決めると言っているので、ほぼこれ以上ということはないかと思う。

Q 合葬墓は良い。合葬墓ができるということは個人墓がなくなっていく。無縁化していく可能性がある。自分も直面したが、仮に個人墓を動かす場合は、規定により現状復旧しなければならないので 20 万円ぐらい掛かった。購入したときは抽選でやっと購入できた。しかし現在は違う。この状況において拡大するのはどうか？

A 墓じまいという言葉聞く。代が進むと受け手がいなくなるのが現状。借地であっても個人の問題であるので、行政がそこまで対応できるかどうかは議論が必要。議会としてもこれを積極的に行うのは難しい。

Q 共同墓ができた場合、個人の墓の需要は減る。墓じまいはどうなる？片付ける？放置？

A これまでの人口増社会では、墓をしまわなくてはならなくなると想定をしていなかったはず。今後の予測と現在の条例が即しているかどうかは確認をしてみなければならない。社会情勢に対応していけるかという視点で検討したい。

Q 利根別川クリーン・グリーン作戦が形骸化してきていると思う。昨年先頭を歩いたがほとんどごみを拾えなかった。その状況で 1000 名以上が参加している。

去年の 6 月に市内のごみ拾いをする活動に参加したが、多くのごみがあった。せっかくの活動なので全市を上げて岩見沢市をごみゼロのまちにしたいと考えているが、協力をお願いしたい。

A 要望として承る。

意見 市営住宅に入っているが、長い間ためていた座布団を捨てた。40 リットルのゴミ袋 400 円分買っても足りない。ちょっと捨てても 400 円というのでは、大型の燃えるゴミなどもそうだが、もう少し金額を下げることはできないのか？

また、年間、いくらのお金が入ってきているのか？それが効果的に使われているのか？意見・要望です。

Q 文向台衛生センターの老朽化について、現存の建物の増築。南光園も古いのでは？場所もあそこでよいのか？あそこは、岩見沢の顔となる場所ではないのか？

A 部分改築が進み、住民説明会が終了している。景観に関しては、植樹等で景観を損なわないように対応すると聞いている。

【病院に関すること】

Q ダ・ヴィンチの費用対効果がないのでは？

A 市側は、費用対効果を考えていると認識している。
今後もしっかり確認しておきたい。

Q 市立病院でガン検診が安くてありがたい。検診に当たって未だにレントゲンやCT等で検診しているのではないか？その反面、ダ・ヴィンチを入れると聞いた。その機械は非常に優秀で素晴らしいと思うが、現状では保険の適用も少なく、前立腺がんなど限られる。そういうのを数億円で、また、年間維持費も掛かるので、そのようなものより、PET-CTなどを先にいれたほうが、がん検診などにも連動していき、市民のためになる。どうでしょうか？

A 新聞報道等でもある通り、ダ・ヴィンチサージカルシステムが導入される予定になっている。総合医療の中では必要という認識、ドクターのアドバイスをいただいた中で決めている状況。趣旨のことは理解する。

多くの人に利用してもらえる必要性は同感。今後もそのようなご意見があったということ踏まえて委員会等でも議論していく。

【農政部関係に関して】

Q 中山間地の取り組みについて、岩見沢市はどのような取り組みなのか？栗沢が合併後対象から外れたのか？

A 対象から外れていない。条件は、過疎地域ということ。国から条件指定地域等の2通りある。

Q ICT農業。北村は未だにADSL。いつ高速通信化されるのか。

A 栗沢は一部で使える。通信機をつければ使えるようである。

NTTにとっては需要がない。環境が整っていない中、ICT農業が進められている。貴重な意見である。

Q 農業がどういうふうに進んでいくのか。十勝では、長芋の加工を行っている。幌向、上幌向、長沼に農業試験場がある。全体の中でどうしていくのか、6次産業化を考えていくべきではないか？その効果は？

A 農家として身近に感じる。渡辺市長時代から発信を行っている。市役所にTPP反対の懸垂幕が必要ではないかと訴えてきた。岩見沢商工会関係者、建設業者等にとっては、はっきりマイナスとして捉えていないため、市としてはっきりノーとは言えない。TPPの陳情等は議会にも来ており、昨年6月に意見書を国に上げているが、9月には上げることができなかった。米は全道で作付け一番ではあるが、販売はというと、海外販売を渡辺衆議は言っているが難しいと感じている。6次産業化の取り組みは、農業者だけではできない。事業者と協力して取り組むことが必要である。新たな考えがあれば、教えていただきたい。

意見 無人トラクターもよいが、余った米等を加工することなどが必要ではないか？本州に行って、「ゆめぴりか」とかという米の銘柄で争う時代ではないと思う。農協との協力も必要ではないか？

意見 農業政策、TPP反対についてがんばってやっていただきたいと思う。

【経済に関すること】

Q プレミアム商品券を買えるかどうかもお金があるかないかに関わるから本当に意味があるのか？

A 市が補助して潤うようにしている。

意見 プレミアム商品券があっても日常分しか購入せず、使用された商品券は手数料がかかるので、他の店舗、特に大型店で使用される。

【観光振興に関すること】

Q メープルロッジの改修について、費用対効果が見込めるのであるならよいと思うが、この投資についてはどうなのか。

A 皆さんの意見をもとに、新年度の予算審査などの場で確認していきたい。

意見 メープルロッジが改修されることで使いにくくなるのではないか？

Q 岩見沢に道の駅がない。非常に残念。農産物も沢山あるのに道の駅がないのは残念。どうなっているのか？あれば PR もできるし、観光バスも来る。活性化になると思うが。

A ・過去に検討したことがある。精肉センターのところに国道の駐車場があるが、場所が狭かった。また、地元で何かがあるか？目玉になるものがなければならない。

・国交省、道の駅同士の距離がなければ補助対象にならない。市単独ならできるが、補助金をもらうには中幌向ぐらいまで離れなければならない。234号線でもまち外れまで行かなければならない。なかなか条件が合わずに難しい。

・国交省は国道でなければならない。三笠は農水省。現在、国も消極的。

【除排雪に関すること】

Q 除排雪の関係で、重機の排土板の使い方が以前と全然違う。Yの字で抱えて持って行ってくれたが、大雪の年ぐらいからハの字でかき分けていく。よって置き雪が多くなって困る。また、我々が一生懸命はねたところに雪を置いていくのが納得できない。持っていく場所がなければ踏み固めていくので暖気になったら車が走れなくなる。運転手に対して、業者として金をもらっておきながら心が痛まないのか？と言っている。しかし、運転手によっては仕方ない。雪を持っていく場所がない。我々もこれ以上動けば赤字になると言う。今年は雪が少ないから問題ないが、今後は置き雪が解消されるのを期待している。また、様々な運転手の配慮（走行スピードやプラウの動かし方等）をしてもらえれば色々と変わるのでは？

A 市民と業者と行政の三方良しを目指して検証したい。おっしゃることは良く理解できるが現実には難しい。業者に発注しているのは公道を開けるためだけのかき分け除雪が原則。今おっしゃった排土板はマルチプラウというが、いくらY字で抱えていっても物理的に抱え込める量を超えてしまえば雪は両脇にこぼれていく。雪を仮置きする場がなければ、Yもハの字も同じ状況になってしまう。よって解決するには地域内の雪置き場を増やすか、ダンプトラックとセットで排雪をしていく必要がある。しかし、岩見沢市は平成25年から平成34年までの中長期財政計画では114億円不足するといわれる中で、現在も約13億円の除排雪費が掛かっているが、これを大幅に増やしていくのが良いことかどうか。そのようなことも検討する必要がある。

Q 今も間口の置き雪に関し、3～5万円ぐらいで民間業者とシーズン契約を結んでいる人が多いと思う。その半分でも市で助成してくれないか？

A 検討は大事なことだと思っている。行政としても一度シミュレーションすることで総額がわかる。その金額によって行政と議会、市民もさまざまに検討することができる。

Q しらかば公園が使えない。公園を開放してほしいと市に言っているが、検討をしていると言われる。多少雪が融けるのが遅くても困ることはない。今、子どももいないし、除雪用に開放してもらいたいが。

A 議会でも以前視察で秋田市に行った。民地を借り上げて雪捨てをした経緯。これを岩見沢でもできないかと話をした。雪を捨てる方は良いが捨てられる方が邪魔者のような考えになる。よって固定資産税の減免等でメリットを発生させることでできないか伝えた。行政だけでなく市民も協力しつつ、解決できないかという中で、公園も活用できないかと協議している。ごみ等さまざまな課題があると思うが、市だけではなく住民の皆さんと協力して克服することが大事だと思う。

意見 空き地があっても勝手に使えない。やはり行政によるきっかけづくりが必要ではないか。

意見 近所には高齢者が多い、間口の置き雪は困る。よって、作業する除雪幅もギリギリの除雪でしなさいと言っている。市に頼むだけではなく、自分たちも工夫しなきゃ駄目だと思う。あと、国の空き地があるが、活用させてもらえない。販売する土地だからという事情はわかるが、何とか協力してもらえないものか。

意見 固定資産税の減免などによる空き地の活用は大歓迎したい。

意見 置き雪は全戸を対象とすると大変だが、高齢者で本当に困っている人を優先すべき。そういう方々が現在、3～5万円出してやってもらっている。例えば、町会にお願いして、本当に間口の雪で困っている方々の戸数調査をして把握するのも大事。その中で幾らまで出せるかなど、データを揃えてどれぐらい市の予算がいるか検討し、秋までに結論を出すことが必要ではないか？滝川は75歳以上、美唄もやっているようだから。

独居は市でやっている。除雪もしているよね？見回りも市でやっているのに対象数は押さえているのでは？

Q 間口置き雪の問題はどうなるのか？緊急自動車を入れるための除雪とは性質が異なる。間口除雪は個人の利益になる。受益者負担にすべきと思うがどうか？

A 受益者負担の原則に照らし合わせた上で考えていく必要がある。業者も対応できるかどうかも課題。日の出コミュニティセンターでも出た話題だが、近隣公園を有効活用するなど、いろいろな観点から検討していきたい。高齢化社会の中では喫緊の課題と捉えている。

Q 間口排雪。試験的に実施しているということであるが、どの程度実施しているのか？

A ・まだ着手していなく、検討段階である。お金の掛るところであるため、受益者負担の考え方もある。民間業者からも意見を聞いて検討している段階である。

・人間が通る部分の雪を取る。あくまでも人が通る部分をどうにかしようという考え方。除雪して、そのまますぐに間口排雪ではない。別々の動きとなる。

意見 除排雪について、美流渡では雪のためられる場所を提供し、業者と約束をして行っている箇所もある。

【駅前通りなど街並み、道路に関すること】

Q 駅前通りの整備が進んだというが、具体的にどのような感じになっているのか。

A 北海道が施工して進めていく事業。窓口は市も関与するが主体は北海道。ご存知のとおり、なかなか前に進んでいかない状況であるが、市が直接行う事業は地下共同溝を進めている。民間の空き地は地権者の意向によるので、市はなかなか関与できない。経済的見通しが立たないため、現状は開発の見込みも難しい。いずれにせよ頓挫しているわけではなく、少しずつ進行はしている。アーケードではなくロードヒーティングになると空き地の前は誰が負担するかなど、さまざまに問題はあ

Q 駅舎の1条が空いている。今後どのようなまちなみになっていくのかが見えてこない。テーマ性のあるまちなみが必要であると考え

A 本当は、建物の意匠が決まっている。実態は曖昧な要素が強い。一部立ち退きが遅れている。1条西6丁目は土地の権利も複雑であり整理が難しい。

Q 駅北地区に住んでいるが、南北自由通路にベンチがほしい。

A 真ん中に腰掛けられる手すりはあるが、高齢者やお子さんは難しいと認識している。要望として承りたい。

Q 駅北昇降棟にトイレがない。近くにもないので、是非北口にトイレが設置できないものか。

A 地域の団体から要望が来ている事実はあるが、通行量や費用等の状況をみて慎重に検討しなければならないと思う。要望として承りたい。

Q 日の出台に住んでいるが、競馬場跡地の件で、松野市長に会った時には「もう少し待ってほしい」と言われた。来年新しい道路もできる。それが終わったら競馬場に手をつけるのか？と聞いたことがあるが返答はない。市にとって大きなタネ地であるので、東部連絡協議会でも議論をしたが、現在はストップしている。今後の見通しは？

A ばんえい競馬撤退後、スタンドだけが残っている状況。専門家を交えて議論が進んできたが、30億円ぐらい掛るような状況で、財政的に進めることは難しい状況。市民が納得するような投資となるかどうか重要なので、担当とも協議していきたい。

Q 幌向にパークゴルフ場がおかげさまでできた。今は、ボランティアで管理をしていて、パークゴルフを通して高齢者の健康増進につながっている。将来は、市とともにやっていきたい。芝刈りの高性能の機械の導入をしてほしい。

A 市で管理をしていくことになれば条例の制定が必要。当初のスタートでは地区協と話し合いをして決まっていると思うが、市の管理という要望が出ているのであれば、意見として承る。健康増進を岩見沢で進めている。誰でも気軽にできるパークゴルフは大切であると考えているので、市のほうへ働きかけていく。

【水道に関すること】

Q 桂沢浄水場の建築に当たって、岩見沢だけでなく三笠市、美唄市と共同でつくる形。しかし、82%が岩見沢市、97億円と非常に高額。審議会の中でも意見を言った。いわゆる水の使用量の比で決めたのか、人口比で決めたのか？将来に渡って使用するので現在の人口比で決めることにも疑義がある。

A これに関して議会側では詳細のデータを持っていないが、給水人口の割合で設定している。97億円というのはトータルであり、岩見沢は81.93%を負担する。

Q 国の補助等もあるので、全額を払うわけではないと思うが、今後人口が大きく減っていく中で水の使用量が減り、当然収入も減っていく。市民にも情報を公開して検討をしっかりとっていく必要がある。段階的に情報を出していったほしい。

A 人口が減っても、現在の状況に合わせていかななくてはならないのは、やむを得ないと考える。

(再) 基本料金の設定が7m³となっている。心配しているのは標準世帯で使う水の量は7m³が適当だろうという予想できていると思うが、2015年の国政調査では、標準世帯がかつては半数以上であったのが、現在は27%。一番多いのは単身世帯。単身と夫婦二世帯を合わせると50%を超える。水道は原価方式なのに使わなくても7m³払わされている。下水道も。単身世帯や二世帯で半分以上が7m³も使っていない。原価方式なので水道料金が高くなる場合もあるだろうが、現状を見直すことが必要ではないか？

A ・理解する。基本料金を下げると従量料金は上がることとなる。
・基本料金があって、それを越えた部分を受益者負担で払っていただくという認識。合併時も北村は全道一高い水道料金であったが、合併して随分と下がった。
合併から10年を経過し、料金設定も見直すことも大事かと考えているので、今後議会としても方向性を示していければ良いかと思う。

【その他】

Q 予算を決めていく過程はわからないのか？

A 予算は積み上げていくのでわからない。審査、議決はできる。

(再) 行政議事録は確認できないのか？

A 情報公開条例があり、請求することはできるが、見られるものと見られないものがある。

Q 市役所駐車場の除雪関連、職員用は職員が負担しているのか？

A 近くの方は車以外を使用していると考え。規定があるはず。職員は市役所の裏側に停めている。

Q 公共施設に行くと市の広報紙が余っているのを見かける。余ったものを焼却しているのであれば無駄ではないか？

A 再資源化している。

【議会運営、議会活動に関すること】

意見 請願権の行使。議会に出す時に本会議にかからずに、その前に会派で全会一致とならないと本会議にすらかからない。これは改善すべきと思う。本会議で決をとるようにできないものか。市民の要望であるのに全会一致はおかしい。民主主義に反するのでは？

多数決になれば出すほうも納得するが、現状はそうではないので、真っ先に改革してほしい。(要望として)

Q 傍聴席から顔が見えるのは、理事者と質問者しかいない。新庁舎でという話になったと記憶している。前向きに取り組んでもらえると思っている。議長は4年でいいのでは？

A ・傍聴席の壁をとるには現段階ではコストが大きい。
・庁舎改築までに予算を組めないか考えたい。副議長が議長になれないということはないと考える。2年任期は知る限り岩見沢のみ。4年のほうがよいと思うが、これからの協議事項となると考える。

Q 日中に議員全員で岩見沢市内を巡回したほうがいいのではないか。

A 合併したときにやったことはあるが、必要なことなのかもしれないと感じる。

Q 岩見沢市の政務活動費の状況をホームページで公開してほしいのだが、その予定はあるのか？

A ・収支報告書はホームページで見ることができる。会派に1人当たり月1万円支給される。全体のコンセンサスを得られれば挙げる領収書まで公開することができる。

・金額は小さいが、しっかり記載し使用している。

※ 現時点では、領収書の公開については情報公開請求が必要。

Q 岩見沢の議員は、自分で質問をつくっているのか。それとも市役所の職員がつくっているのか。そこを聞きたい。

A 議員が研究をして、議員が課題を見つけてやっている。現在の議会は21人の個々の議員の集まりなので他の人のことは確認する術はないが、基本、全員が自分で作成していると考えている。

Q 議会を傍聴しているが、同じような議員が質問していると感じるが、どういふふう質問する人が決められているのか。

A 質問には代表質問と一般質問の2種類がある。一般質問は市政全般において、全ての議員に権利がある。

Q 市議会の広報の状況は？

A 本会議のインターネット中継や録画配信、議会だより、ホームページ、意見交換会など

Q 議会だよりについて、質疑応答がごく一部である。もったいないのでは？

A 紙媒体は紙面に限りがあるため、全てを載せることはできない。インターネットでライブ中継と録画配信を行っており、市議会ホームページから見られるようになっているので、ご覧いただきたい。

Q 各常任委員会、各会派の視察研修を行って、どのように施策に活かしているかを情報提供してほしい

A もともとは、岩見沢の発信度は最低ランクだったが、少しずつ改善されてきた。今後、本会議の一問一答の導入、議会基本条例、議会倫理規程を取り入れていきたい。

Q 個人の公約もあるが、議会として一致して取り組めるものを示してほしい。

飲酒運転の議員について、辞職勧告決議があっても議員を続けていることは、議会や市のモラルが問われている。しっかりと取り組んでほしい。

A 決議は、法的拘束力がないため本人次第。必ず辞めさせることは難しい。

Q 飲酒運転の議員がいる。辞職勧告決議も数回出されているが、本人が辞職をしなければ意味がない。議会としての自浄能力を疑う。議会として今後どうするのか。

A 岩見沢市議会として3回辞職勧告を決議した。議員の立場は強く守られており、議員同士で辞めさせることはできない。議員同士でこれ以上のことを行うのは非常に難しい。

意見 議会日程の短縮、開催時間の変更はしていかないのか。経費の節減にもつながるのでは？

意見 議会の傍聴ですが、高齢者となり、なかなか声が聴こえないので、対応してほしい。

【意見交換会に関すること】

Q 6回分の意見交換会の内容を市民にわかるように公表してもらえるのか？

A 昨年も市議会ホームページに報告書を掲載している。今年も議会だよりにも掲載したいが紙面が限られてしまうので、詳細はホームページであげたい。5月1日発行の議会だより間に合わせたいと考えるが、間に合わない場合は8月1日掲載の議会だよりでお知らせしたい。

Q 意見交換会の資料は、どなたが作成したものか？

A 各常任委員会でテーマを抽出し、作成している。

Q 配付された資料について、市の事業説明の資料と感じる。意見交換会だからこそ、議会の意見の入った資料が必要ではないか？

A 資料の内容は自分たちで選んで作成している。

意見 資料の字が小さくて読めない。

意見 時間帯を再考してほしい。意見交換会は冬でなければ駄目なのか？（日の出コミュニティセンターにて）

意見 通常の皆さんの活動を知りたい。

意見 なぜ人数が集まらないのか？複数回やってほしい。

意見 関心がないのか、時間設定なのか、これから検討してやってほしい

意見 市民の意見交換会という名前がだめなのではないか。座談会とか。

5、意見交換会～皆様の声を聴かせてください～アンケート集計結果

●実施日 平成29年2月15日（水）・19日（日）

●来場者数 85名

●アンケート回答者数 80名（回収率94.1%）

■今回の意見交換会について■

Q1 皆さまについてお聞かせください。

年齢（参考：アンケート回答者80人の平均年齢 68.1歳）

答え	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
人数	1	7	5	20	34	11	2

性別 A 男性 B 女性

答え	男性	女性	無回答
人数	64	16	0

Q2 今回の開催について、どのようにお知りになりましたか。 ※複数回答あり

A 市議会ホームページ B 市議会だより C 意見交換会ポスター D 知人
E 新聞など F その他

答え	ホームページ	議会だより	ポスター	知人	新聞など	その他	無回答
人数	5	37	7	9	18	11	1

F その他で記載のあったもの

- ・町連・町会の案内等 7
- ・議員のフェイスブック 1
- ・議員のブログ 1
- ・議員からの案内 1
- ・いわみざわ民報 1

Q3 参加しようと思ったきっかけは。 ※複数回答あり

A 市議会に関心がある B 報告内容に興味がある C その他

答え	市議会に関心がある	報告内容に興味がある	その他	無回答
人数	32	34	14	2

C その他で記載のあったもの

- ・意見交換会がどのようなものかを知ること

- ・今まで出たことがないので、様子うかがいで参加いたしました
- ・さそわれて
- ・参加者の意見に関心がある
- ・市政そのものに興味がある
- ・町会運営の参考にしたい
- ・町内の現状
- ・出てみようと思った
- ・述べたい意見があったため
- ・初参加、どんな交換会か…。
- ・要望の提案

Q4 参加した感想についてお聞かせください。

今回のテーマ（報告内容・意見交換）について

A 良い B 普通 C 悪い D その他

答え	良い	普通	悪い	その他	無回答
人数	35	29	2	1	13

D その他で記載のあったもの

- ・いろいろなパターンで

日時の設定について（日時・会場別）

A 良い B 平日昼間 C 平日夜 D その他

2月15日（水）午後7時～

○日の出コミュニティセンター

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	3	3	1	4	1

C 平日夜で記載のあったもの

- ・6時くらいから

D その他で記載のあったもの

- ・個人的に冬場は出にくい
- ・春・夏・秋にどれかで開催したほうが
- ・平日午後5時
- ・平日夕方に！

○美流渡コミュニティセンター

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	3	1	0	3	0

D その他で記載のあったもの

- ・休日

- ・高齢者の地域ではもう少し早くに
- ・もう少しはやく

○北村環境改善センター

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	3	3	1	4	1

D その他で記載のあったもの

- ・午後6時頃

2月19日（日）午後2時～

○生涯学習センター いわなび

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	17	7	1	0	1

○栗沢市民センター

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	6	1	1	0	1

D その他で記載のあったもの

- ・いろいろなパターンで

○幌向総合コミュニティセンター ほっとかん ※複数回答あり

答え	良い	平日昼間	平日夜	その他	無回答
人数	11	6	2	0	0

会場の設定について

A 良い B 悪い C その他

答え	良い	悪い	その他	無回答
人数	70	1	4	5

A 良いで記載のあったもの

- ・寒かった（幌向総合コミュニティセンターほっとかん）

C その他で記載のあったもの

- ・△（普通）
- ・会場をもっと多く、まなみーるでも
- ・市民会館
- ・駐車スペースのある市民会館など

今後の開催について

A 必要 B 必要ない C わからない

答え	必要	必要ない	わからない	無回答
人数	74	0	2	4

Q5 今後、どのような意見交換会、報告会等があれば、参加したいと思いますか？

- ・是非今後も実施を
- ・冬の除排雪に関して
- ・暖かい時にしてほしい
- ・市議会の活動について、内容を報告会等を通じて発信してほしい。市民の声がどのように反映されているのか、結果もきちんと伝えてほしい。
- ・町内の発展について
- ・率直な意見交換きかせていただき、よかった！
- ・今後とも続けてほしい
- ・参加したい
- ・テーマがわからないまま参加するより、事前に話し合う内容かわかっていると、興味のある会場を選んで参加できるようになると思います。
- ・わからない
- ・市長との懇談会
- ・テーマを決めた意見交換会があると、それに関心のある人々が参加し有意義な意見交換ができると思います。
- ・各常任委員会報告は意義ありと思い、今後も継続していただきたい。
- ・今回6回行われた意見交換会で市民からどのような意見や要望が出され議会としてどのように答弁したか？今後どのように対応していく予定なのか？という報告会
- ・よりよいまちづくりを目指して
- ・委員会ごとの内容報告と意見交換があるとよいと思います。
- ・岩見沢市の都市経営に関する意見交換会があれば良いと思います。
- ・圧倒的に高齢者が多いので、若い人に向けて、学生に向けて、また、各年代に向けて等々細かく分けていただいで開催してほしい。
- ・市役所移転のこと、持ち家の活用等の高齢化にからむまちおこし
- ・本日の状態でよい
- ・議員さんの数は少々減らしても会場をあと数カ所増にしてほしい。
- ・参加を望む
- ・市民との意見交換ですごく勉強になりました。
- ・中心的な課題を設定して
- ・議員と市民が直接意見を交換できる貴重な場であると考え。今後も定期的に行うことが望ましい。
- ・市民の声で具体化した事項があれば、その旨をPRすれば意見やらアイデアやらがもっともっと出てくるのでは。
- ・報告会があれば、参加したいと思います
- ・参加数が少なく寂しいが、今後も参加します。
- ・機会があれば参加したい。
- ・議員さんの意見を聞きたい。参加したい。

- ・いろいろな意見がありました。内容について、次回報告してほしい。TPP などいろいろ検討した内容を分かりやすく解析して報告してほしい。
- ・参加します
- ・身近な問題点や各町会の要望事項等を聞き出してほしい。
- ・少子高齢化対策。特に、子育て世代の職住接近化（若いお母さん対策）
- ・観光入込増対策→経済活性化、観光ポイントは？
- ・年3回開催要望

Q6 今回の報告会でお気づきの点や発言できなかったことなどありましたらご記入下さい。

- ・市立病院の医師の能力の高い人を。今後が不安だ
- ・もっと会場を多く、昼、夜と開くべき！
- ・住民の話を良く聞いてくれた
- ・初めて参加させていただきましたが、やはり一般人は少なく、議員さん等、いわゆる「先生」と呼ばれる方々ばかりで、私など場違いだったのかな？と感じています。形骸化にならないように願うばかりです。
- ・治水対策など
- ・北村会場で冬場は午後6時の開催にしてほしい。
- ・対面ではなく、円座するとか、皆さんが間に入る等できると、より忌憚のない意見が出ると思いました。
- ・発言したい人が多過ぎて実質60分（30分は常任委の報告だから）では全く足りない。回数を増やす、時間を延ばす、又は、あらかじめ議題について、市民に提示してから、興味のある会場に集まってもらう…等の工夫が必要かも！？
- ・障がい者や高齢者、子どもなど弱者に優しい街づくりや豪雪対策などの検討、顔のみえる雇用環境を整え、福祉の拡充を目指すこと。一次産業を核とした地産地消システムを構築してください。
- ・意見を聞くだけでなく、ある程度いなして、まとめながら進行していかないと時間ばかりかかります。
- ・岩見沢市の人口が6万人に減少したときに市立病院と労災病院が共存できるのでしょうか？
- ・質疑応答と意見交換を分けて運営
- ・動員しているような傾向～一般市民でなく
- ・スムーズな進行で大変よかった
- ・質問が1人の参加者に時間的に片寄った。参加者が話をしやすい時間にしてほしかった
- ・出席している市議全員の考えが聞きたかった
- ・多くの参加があった方が良い。
- ・意見交換会という表現より、議会活動報告会という方が良いのでは！！
- ・健康経営都市宣言を全国で初の認定を受けて、取り組むとの市長の年頭の挨拶であったが、今後市庁舎の建設等があるが、公共施設等の受動喫煙防止等の対策（条例等の

制定) を考えてはどうか? ※道内では美唄市が制定している。

- ・ 議会としての立場で話してほしい
- ・ 辞職勧告を出されている議員が未だにやっていることに腹が立つ。市民の恥だ。
- ・ あります。議員さんの発言が聞きづらい。意見をどう取り扱うか。(課題について) 議員の意見はどうか、議員さんの立場で話してほしい。
- ・ 議員の皆さんの熱意が感じられた。市街地活性化と言うが、その具体的(現在の状況)な様子が見えなかったが、苦勞が少し見えた。
- ・ 各議員のテーブルに名前がほしい
- ・ 各常任委員会の報告について
 - ① 具体性が乏しい
 - ② 回数が2~3回
 - ③ 同じ(3班)班が望ましい。
- ・ 市議が一致して取り組んできたことがあれば出してほしい。
市民の安全・安心として、また子育ての部分は、人口減に直接関係があると思う。
- ・ 1. 町会所有の会館(ホール)の維持費の援助を
2. 空地、空き家の地主を市に問い合わせたら知らせてほしい。
- ・ ① 雪捨て場増設 ② 発言は3分以内原則

■ 岩見沢市議会について ■

Q7 これまでに市議会(本会議・委員会など)を傍聴したことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	34	33	1	12

B いいえで記載のあったもの

- ・ 平日、日中、全ての議会はきけません。工作中です。

C ご意見

- ・ ユーチューブで見ることが出来るとのことなので、是非見たい。

Q8 これまでに市議会だよりを読んだことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	70	0	0	10

Q9 定例会開催案内ポスターを見たことはありますか。 ※複数回答あり

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	38	29	1	13

C ご意見に記載のあったもの

- ・新聞で確認する

Q10 その他、岩見沢市議会へのご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

- ・要望があれば町会長にお願いをします。
- ・今日はお世話になり、ありがとうございます。現議員、元議員、関係職員…の方々(?)ばかりの参加で少しもったいないな…と思いました。

折角の機会なのだから、もっと広報していただければよかったのでは……?

(とは言ってもとんちんかんな一般人ばかりがたくさん集まっても仕方ないですね)市議会で話題に載れば、少しは改善されるのかな…?と、わからないまま参加させていただきました。場違いで申しわけありません。

もう少し書きたいところですが、イスやテーブルを片付けている皆様に申し訳ないので途中でやめます(笑)

企画、進行していただいた皆様、ありがとうございます。

- ・本日、北村までおいで頂きご苦勞様でした。厚く御礼申し上げます。
- ・子育て支援につきまして、①国の方針で平成30年度学童保育が小学6年生までに拡大されます。既存の施設にて受け入れる場合、現状の児童館はおそらく低学年が使用するようにつくられているため、椅子の高さ、遊具のボールの大きさ、etc、そういった部分の設備の改修や備品の購入に充分なだけの予算措置を下さっているのでしょうか…?

平成32年度から学習指導要領が改訂され、ことに3年生から英会話が盛り込まれ、5・6年生までは英語が『教科』として発生してきます。学童保育で、6年生まで預かることになる児童館において、今までは3年生までだったため、保育士の資格をもつ人で対応してきたのですが、6年生までとなると「保育士」では能力不足(?)なのではないかな…?と感じます。専門知識もない職員に適切な指導をさせておく…。そんな対応にだけはならない様に、よろしくお願ひしたいと思ひます。

- ①まず何より日頃の皆様の議員活動に敬意を表します。
- ②行政の監視役として、しっかりとお務めのことと思ひていますが、やはり費用対効果を考えた予算執行になっているかどうか、ご配慮ください。
- ③プレミアムフライデーなどの働き方改革の一步として、市職員の残業削減を考えてください。無駄な時間に貴重な税金が使われていることのないように。

- ・地元の市民と意見交換を盛んにしてほしい。

少子化問題は国家の重要な問題です。地方自治体ができることは、限られていますが、頑張つて知恵を出してください。

- 地方議員の除名に関しましては、地方自治（実際には地方自治体法と記載）法第135条第2項、3項がありますが、それは考慮されないのでしょうか？
「人口の先細り」は仕方がないと考えてはいらっしゃらないようですが、打つ手がなければ、収入が減り、事業が借金という形になります。
- 真剣に真摯に受け止めて頂ければ、大変有意義な集まりになると考えます。有難うございました。
- 現在、市役所庁舎の新築について議論されていると思うが、場所と同時に土地の地質検査等を重点的に取り組むこと。
- 新庁舎に市民が参画しやすい傍聴席を作成願う
- 月並の希望で申しわけありませんが・・・
 1. アパートのゴミステーション設置の条例化
 2. 地域活動（町会活動）にこれ以上の負担を掛けないで下さい。ボランティアに強く依存しています。高齢化で現時点で既に限界。負担金が増加してもいいので「行政」で対応するシステムの構築化を急いで下さい。→数年後ニッチもサッチもいなくなります。
- 岩見沢市のあるべきマスタープランを出来れば話し合いたい。
- 議会改革がどのように進められるか注視しておりますので頑張ってくださいと思います。

6. 資料

開催状況写真

〈【1班】 2月15日：日の出コミュニティーセンター〉



〈【1班】 2月19日：生涯学習センターいわなび〉



開催状況写真

〈【2班】 2月15日：美流渡コミュニティーセンター〉



〈【2班】 2月19日：栗沢市民センター〉



開催状況写真

〈【3班】 2月15日：北村環境改善センター〉



〈【3班】 2月19日：幌向総合コミュニティセンターほっとかん〉



〈開催告知ポスター〉

岩見沢市議会広報広聴事業

意見交換会

～皆様の声を聴かせてください～

市内6箇所開催！

どの会場でも自由にご参加いただけます。

平成29年2月15日 水曜日
夜7時より開始

◇日の出コミュニティセンター
住所：岩見沢市日の出台3丁目6番17号
TEL23-0913

◇美流渡コミュニティセンター
住所：岩見沢市栗沢町美流渡栄町93番地4
TEL46-2555

◇北村環境循環センター
住所：岩見沢市北村赤川595番地4
TEL55-3273

平成29年2月19日 日曜日
昼2時より開始

◇生涯学習センターいわなび
住所：岩見沢市4条西1丁目3番地4
TEL24-2333

◇栗沢市民センター
住所：岩見沢市栗沢町北本町168番地36
TEL45-2128

◇幌向総合コミュニティセンター ほっとかん
住所：岩見沢幌向南1条1丁目70番地5
TEL26-1548

【開催概要】

岩見沢市政において、今後重要な要素を備えている事項や課題となっているもの。また日常の市民生活において課題となっているもの、改善すべき点等々について、市民と議会との意見交換を行い、今後の市政に反映していくことを目的として開催します。

【実施概要】

議会常任委員会所管より大まかな話題提供を行い、それに基づいた意見交換を実施。その後、参加された皆様からの自由な問題提起、意見交換を主として開催いたします。

(開催時間は、全体で100分程度を予定しています。)



〈お問い合わせ先〉

〒068-8686
岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
市役所庁舎3階《議会事務局》
TEL 23-4111 (内線462)
FAX 25-5503 (直通)

7. 最後に

岩見沢市議会広報広聴事業

意見交換会 ～皆様の声を聴かせて下さい～ を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成26年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成27年度は常任委員会毎の重点的な内容報告を主としながら、より意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

3回目となる今回は、これまでの検証を基に、より参加しやすい環境づくりと、参加者の皆様との更に密接な意見交換の場となることを目指して開催いたしました。結果として、参加者数にはまだまだ多くの課題が残りましたが、ご参加いただいた皆様から、市政に対し数多くの多様なご意見・ご要望、また、議会に対するご意見・ご要望など、非常に活発な発言をいただけた事は有難く、今後の議会としての活動、また議員個々としての課題の抽出に向けても大きな意義を持つものであったと確信しています。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制のもと、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できる様に務めてまいります。

御協力を賜りました事に厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長

笹島 清一